



瓊浦高等学校  
学校通信  
第 88 号

令和元年12月25日発行  
電話 095-826-1261  
FAX 095-820-5245

# 瓊浦の窓

「ONE TEAMの力」

指導監 荒木 典子

2019年が、もうすぐ終わります。皆さんにとってはどのような1年でしたか。平成が幕を閉じ、新しい令和の時代が始まった年でしたが、「特に何も」という答えの人もいるかもしれません。新年を迎えるに当たって、「人生100年時代」と言われる現代だからこそ、気力・体力・知力がみなぎる高校生時代の1日1日が、自分の人生の土台作りであるともう一度心に留め置いてほしいと思います。

さて、9月、スウェーデンの16歳の環境活動家、グレタ・トゥーンベリさんが、国連気候行動サミットで激しい口調で地球温暖化対策を訴えました。日本では8月下旬の福岡、佐賀、長崎の北部九州を襲った集中豪雨、千葉県を中心に甚大な被害をもたらした台風15号、多くの河川の決壊・氾濫を引き起こした台風19号と、今年も、温暖化の強い影響を感じざるを得ない1年でした。

このところずっと、自然災害や格差社会、少子高齢化など、どちらかという「負」の力によって気持ちがふさがちな人たちが多いと思いますが、瓊浦高校は「日本一」を始め、文化部も運動部も「勝」という文字が躍った1年になりました。日常の多忙さや鬱憤もいっぺんに吹き飛ばしてくれる快拳が続き、表彰状を全校生徒に披露する受納式では、体育館のステージがいつも受納者で溢れていました。これは、皆さんが明確な目標を持ち、一心に努力した成果だと思えます。そこには、先生、保護者の方々、チームメート、全校生徒、地域の皆さんなど色々な方々の支援の力が大きく働いていたことは言うまでもありません。感謝の気持ちが自然と生まれてきたのなら、それは本物の「勝」だと言えそうです。

今年は、ラグビーワールドカップ日本代表の活躍で日本中が沸きました。ルールもよく分からない「にわかファン」も、テレビにかじりついて声援を送り、選手たちの頑張りや勝利に心を熱くしました。まるで、自分もONE TEAMの一員になった気分になってもらいました。私は、今夏、インターハイの応援で、難敵を破ったチームの勝利に号泣している

援団を目の当たりにしました。それはまさにONE TEAMを感じさせてくれるものでした。2020年、私たち一人一人がKEIHO FAMILYの一員として、ますますONE TEAMの絆を強くして邁進する年となるようにと願うばかりです。

## 電動車椅子練習車贈呈式

12月13日(金)、長崎特別支援学校において電動車椅子練習車の贈呈式がおこなわれました。この練習車は機械科3年生4名が、課題研究の一環として制作したものです。贈呈式には知育玩具を制作した生徒を含め8名が参加し、車椅子製作班の平山樹君(機3B)が、「練習車が役に立ってくれるとうれしい、練習を頑張ってください。」と挨拶しました。ついで特別支援学校小学部5年の近藤智太君が、手の動きを音声に変換できる機械を操作して「たくさんれんじゅうしてじょうずにのれるようになりたいです。」とお礼の言葉を述べ、特別支援学校の校長先生からは、お礼とともにこれを機会に車椅子の開発分野にも関心をもっていたらとのお言葉がありました。その後の交流会では、練習車のレバーを一生懸命押して前後に動かす支援学校の児童とそれを見守る本校の生徒、木琴や釣り道具などの知育玩具を使って一緒に笑顔で遊ぶ様子が見られ、貴重な交流の機会となりました。



## 若者議会

12月17日(火)に「長崎県ふるさとの未来を担う若者議会(略称:若者議会)」が開催されました。これは、ふるさとの未来を担う若者を対象に、主権者としての政治参加意識の醸成・向上を図ることを目的として長崎県議会が主催したものです。県内の高等学校特別支援学校10校が参加し、本校からも4名の生徒が議場に立ちました。生徒が議員になりきり、運営から実際の県議会のやり方を模しておこなう本格的なもので、観光の振興や少子化対策等について、提言や県議員との意見交換をしました。





## 情報ビジネス科 インターンシップ

12/10～12/13の間、情報ビジネス科2年生がインターンシップに行ってきました。事前の電話依頼から実習まで生徒自身で行い、70社以上の事業所に受け入れて頂きました。業種も様々で、遠いところでは諫早や西海など自身で興味や関心がある所を選びました。実習中は、慣れない業務や環境に戸惑いながらも、職場の方の温かい対応に励まされていました。

4日間という短い間でしたが貴重な経験をさせて頂き、生徒たちにとって充実した期間となりました。この経験を進路決定に活かしてほしいと思います。



## 【機械科 企業見学】

機械科1年生は、12月17日(火)に企業見学を実施しました。Aコースは(株)井筒造船所・長崎総合科学大学、Bコースは長崎造船(株)・長崎総合科学大学です。造船所ではあいにくの雨に見舞われましたが、規模の大きさや溶接の技術の高さに感心を持って見学していました。総科大では船舶試験水槽やドローンの試験飛行を見学し、溶接・塗装等のシミュレーターを体験しました。「造船所の魅力・仕事内容」についての講話もあり、仕事や進路について考える貴重な1日になりました。



## 【部活動成績】

### 水泳部

2019年第29回長崎県高等学校

冬季室内水泳競技大会

〔男子〕

50m自由形 竹野 友貴(機1C) 第1位

〔女子〕

100m自由形 釜田 莉鈴(普1C)

第3位

200m自由形 釜田 莉鈴 第3位

400m自由形 村川 樹桜(情1A)

第3位

50m平泳ぎ 大町 里菜(情1B)

第3位

100m平泳ぎ 大町 里菜 第4位

### 吹奏楽部

第46回長崎県アンサンブルコンテスト

金賞

九州大会出場

## 【県民表彰】

11月23日(土)、令和元年の県民表彰があり、本校から3名が特別賞を受賞しました。

浅野 俊(普3D) アジアパラ選手権大会2019卓球シングルクラス11において優勝の栄誉を勝ちとり、本県スポーツ水準の向上に貢献した。

永淵 雄大(普2D)・町田 脩太(普2D)

第38回全日本ジュニアバドミントン選手権大会ジュニアの部男子ダブルスにおいて優勝の栄誉を勝ちとり、本県スポーツ水準の向上に貢献した。

県民表彰式会場



## 【人権教育】

11月26日(火)

に、人権教育が行われました。1年生はLGBT、2年生はサイバーセキュリティ、3年生はデートDVについて学習しました。どれも、これから社会に進出する高校生にとって重要なものばかりです。今回は、その中でもLGBTについて学んだ1年生の生徒の感想を掲載します。

「LGBTだからといって周りから変に見られたり、犯罪と捉えられる国があったりといった話を聞いて、そのような人たちは普通に過ごしているだけなのにとても辛い思いをしているのが分かりました。みんなが自分らしく生きられるように、相手のこと、周りのことを考えて行動・発言をすべきだということを改めて学ぶことができました。世界にはまだ差別を受けている人はいると思うので、たくさん調べて理解したいと思います。」

## 【1年生人権集会】

12月17日(火)に、長崎県人権教育研究協議会の岩川克行先生をお迎えして、人権について講話をいただきました。先生は千綿小学校の校長先生でもあり、1年生の普通科、情報ビジネス科の生徒たちに対して、サッカーに見られる人権等身近な例を挙げながらわかりやすくお話くださいました。生徒たちからは「ワークシートの絵を描くところで、背が低い方が女の子というように偏見を持っているんだとわかりました」「人権とはありのままに生きる権利」等の感想が聞かれ、内容をしっかり受け止めた様子でした。